

# I 開発教育指導者研修の概要

## ■ 開発教育指導者研修の目的

独立行政法人国際協力機構（以下、「JICA」）は、開発途上国の現状や日本との関係に関する「知見の還元」および自分に何が出来るかを「考える機会の提供」、地域における「橋渡し役」に重点を置いた開発教育支援を実施している。JICAの国内機関である中部国際センター（以下、「JICA 中部」）は、中部地域（愛知・岐阜・三重・静岡）における開発教育支援として、①JICAが直接受け手に対して指導等行う事業（国際協力出前講座、JICA 施設訪問プログラム等）と、②開発教育に取り組む担い手を育成するもの（教師海外研修、開発教育指導者研修）を実施している。特に、指導者育成の事業においては、①初めて開発教育に取り組む人材を対象とした開発教育指導者研修（初級編）と、②より中核的な指導者となることが期待される人材を対象とした開発教育指導者研修（実践編）、及び③教師海外研修を実施し、それぞれの事業を有機的に結びつけることにより相乗効果の拡大を図っている。

このうち、開発教育指導者研修（実践編）は、中部地域における開発教育の中核的な指導者を育成すること、かつ指導者間の連携強化およびネットワーク形成を行うことを目的として、①開発教育の理論や具体的な教材事例、参加型学習の理論および実践方法（ファシリテーション）等の指導法の体系的な学習、あるいは②実際の開発途上国への訪問による開発途上国の実情および日本の国際協力の状況に対する理解の促進および教育材料の収集等のための研修を実施している。

また、研修受講者は、学校・地域等における教育現場において自主的に開発教育を展開する他、JICAの開発教育指導者研修（初級編）において指導を行うなど、地域の開発教育の中核的存在となることが期待されている。



開発教育指導者研修・教師海外研修プログラムの「学びの好循環」

## ■ 「実践編」の概要

- (1) 日時 第1回 2016年6月11日(土) 11:00~17:17 -12(日) 10:00~15:17  
 第2回 2016年7月9日(土) 13:00~17:07 -10(日) 10:00~15:06  
 第3回 2016年8月27日(土) 13:00~17:05 -28(日) 10:00~17:07  
 第4回 2017年2月11日(土) 10:00~18:00  
 開発教育・国際理解教育実践報告フォーラム2017(以下「実践報告フォーラム2017」)  
 2017年2月12日(日) 10:00~16:30
- (2) 場所 JICA 中部 なごや地球ひろばセミナールーム
- (3) 対象 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員、教育委員会、自治体関係者、NPO/NGO、JICA ボランティア OB/OG など
- (4) 運営委託先 (特活) NIED・国際理解教育センター
- (5) 後援 愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、三重県教育委員会、静岡県教育委員会、名古屋市教育委員会、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会
- (6) 参加者数 41名(うち16名は教師海外研修参加者)、他 JICA スタッフ等も参加  
 実践報告フォーラム2017:125名(一般参加者)
- (7) 参加費 無料
- (8) 講師 (特活) NIED・国際理解教育センター代表 伊沢令子
- (9) 内容 テーマ、ねらい、プログラムは、次のとおりである。

### テーマ「ESD(持続可能な開発のための教育)とグローバル人材」

- 開発教育・国際理解教育の目的・内容・進め方と、ESDを始めとする他の教育との関連性を理解する。
- 「知り・考え・気づく」場の提供と、「自己肯定感」「コミュニケーション力」「参加・協力」の力を育てることを通して、人の行動変容を支える「参加型」についての理解を深め、習熟する。
- 人がよりよく学び、よりよく変わることに寄り添う「ファシリテーターの役割」とそのための手立てを確認し、習熟する
- 3回までに学んだことを基に、各自の現場で開発教育・国際理解教育のプログラムを実践し、その成果と課題を第4回に持ち寄り共有し、よりよい質の教育(BQOE<sup>※</sup>)につなぐ。
- 1年間に及ぶ本研修の成果を、仲間と共に一般の人々に向けてフォーラムで発表することを通して、次なる担い手を増やし、「学びの好循環」を作る。

※BQOE...Better Quality of Education

#### ◆ 第1回：『開発教育・国際理解教育のめざすもの』

- ① 研修の全体像を理解し、各自の参加の目的を振り返り、共に学び合う仲間同士知り合う。
- ② グローバル化した世界の現状と課題を共有し、自分と世界、自分と社会課題とのつながりに気づく。
- ③ 世界共通のビジョンSDGsに関する理解を深め、開発教育・国際理解教育の必要性を確認する。

#### ◆ 第2回：『開発教育・国際理解教育にできること』

- ① 開発教育・国際理解教育が扱う5つの柱について理解する。
- ② 「多様性」「同一性」「わたし・あなた・みんなのつながり」についての学び方を習得する。
- ③ 課題を共に越えるために必要なスキルとスキルビルディングについて学ぶ。

## ◆ 第3回：『開発教育・国際理解教育のすすめかた』

- ① 流れのあるプログラムの作り方について学び、参加型手法を習熟する。
- ② 実際にプログラムを作り、ファシリテーターとしてプログラムを実施する練習をする。
- ③ ファシリテーターの役割とよりよい参加型の進め方についてポイントとなることを確認する。

## ◆ 第4回：『開発教育・国際理解教育をつなげよう』

- ① 第3回以降、研修での学びを基にした各自の実践を共有する。
- ② 1年間を通じた研修の成果を共にふりかえる。
- ③ 研修成果と実践を一般市民に向けて参加型で提供し、次へとつなぐ。

## ◆ 実践報告フォーラム 2017 『ヒントが見つかる！仲間に出会える！』

- ① 【受講者】実践報告、モデルプログラムのファシリテートと参加者との意見交換を通して、実践の自己確認、総括を行い、ネクストステップへの意欲を高める。
- ② 【参加者】実践者の成果と課題を共有し、自らの実践のヒントとネットワークを得てもらう。
- ③ 【主催者】国際理解教育・開発教育を推進し、研修事業の次の参加者を広げる。

## ■ 「初級編（愛知県）」の概要

- (1) 事業名 開発教育指導者研修初級編（愛知県）
- (2) 日時 2017年2月19日（日）13：30～17：00
- (3) 場所 JICA 中部なごや地球ひろば
- (4) 主催 独立行政法人国際協力機構 中部国際センター
- (5) 参加者 27名
- (6) 参加費 無料
- (7) 内容 テーマ、プログラムは以下のとおり

## テーマ：世界のことを、子どもたちに伝える先生になる！

- ① 基調講演「今、国際理解教育に求められているもの」  
講師：（公財）名古屋国際センター 林 敏博 氏
- ② 参加型手法・ワークショップ  
講師：中部 BQOE 研究会
- ③ 講評（公財）名古屋国際センター 林 敏博 氏
- ④ ふりかえり、諸連絡、アンケート記入

## ■ 「初級編（岐阜県）」の概要

- (1) 事業名 開発教育指導者研修初級編（岐阜県）  
岐阜県総合教育センター「国際理解教育講座」
- (2) 日時 2016年7月29日（金）9：30～16：00
- (3) 場所 岐阜県総合教育センター

- (4) 共 催 岐阜県教育委員会
- (5) 参加者 22 名
- (6) 参加費 無料
- (7) 内 容 テーマ、プログラムは以下のとおり

**テーマ：国際理解教育講座**

- ① 講義 I 「JICA ボランティア現職教員特別参加制度の活用方法」  
～青年海外協力隊体験談～  
講師：関市立武儀東小学校 教諭 橋本 奈央
- ② 講義 II 「パネルトーク」  
パネリスト：関市立武儀東小学校 教諭 橋本 奈央  
岐阜県高山市立東小学校 教諭 山田 真沙美  
関ヶ原町立今須中学校 教諭 藤井 健太郎
- ③ JICA よりお知らせ
- ④ 国際理解教育ワークショップ ～多様な世界と肯定的に出会う～  
～教師海外研修、開発教育指導者研修（実践編）の活用と実践を通して～  
講師：岐阜県高山市立東小学校 教諭 山田 真沙美  
関ヶ原町立今須中学校 教諭 藤井 健太郎
- ⑤ 研修まとめ

■ 「初級編（三重県）」の概要

- (1) 事業名 「実践に学ぶ 国際理解教育研修」～多文化共生の地域・学校づくり～  
2016 年度開発教育指導者研修 in 三重（初級編）
- (2) 日 時 2016 年 8 月 8 日（月）13：00～16：30
- (3) 場 所 三重県総合教育センター
- (4) 主 催 三重県、三重県教育委員会、JICA 中部  
（「平成 28 年度三重県国際理解教育研修」（三重県環境生活部多文化共生課）、  
「三重県総合教育センター研修」（三重県教育委員会）との協働事業）
- (5) 参加者 52 名
- (6) 参加費 無料
- (7) 内 容 テーマ、プログラムは以下のとおり

**テーマ：今日から使える！国際理解のススメ**

- ① アイスブレイキング
- ② ワークショップ 1 「エルサルバドルとはどんな国？」
- ③ ワークショップ 2 「世界からもしコーヒーがなくなったら？」
- ④ ワークショップ 3 「世界の国のために自分でできることは？」  
講師：桑名市立久米小学校 教諭 駒谷 奈津
- ⑤ ワークショップ 4 「夢・夢・夢 人生、夢いっぱい！～エルサルバドル人から学ぶ～」

- ⑥ ワークショップ5 「夢を叶えるには？」  
講師：愛知県立半田高等学校 教諭 樋口 耕平
- ⑦ 振り返り・質疑応答
- ⑧ JICA 三重県デスクからの事業案内

## ■ 「初級編（静岡県浜松）」の概要

- (1) 事業名 国際理解教育ファシリテーター養成リレー講座 2016（全4回連続講座）
- (2) 日時 第1回 2016年10月2日（日）13：00～17：00  
第2回 2016年10月22日（土）13：00～17：00  
第3回 2016年11月13日（日）13：00～17：00  
第4回 2016年12月4日（日）10：00～17：00
- (3) 場所 クリエイト浜松（（公財）浜松国際交流協会）
- (4) 主催 JICA 中部、（公財）浜松国際交流協会、はままつ国際理解教育ネット
- (5) 参加者 全4回合計103人
- (6) 参加費 各回500円（初回まとめて4回申込みの場合1,500円）＊学生、HICE 会員無料
- (7) 内容 テーマ、プログラムは以下のとおり

### 第1回「世界を知り、考えるためのアクティブラーニング」

学校・社会・家庭で役立つ『国際理解教育』と『アクティブラーニング』について考える。

### 第2回「国際理解教育に活かすコーチング」

常葉大学大学院初等教育高度実践研究科准教授の久米昭洋氏を特別講師として招き、国際理解教育に使えるコーチングについて学ぶ。

### 第3回「浜松から「世界」を発見 ～まち歩き～」

多文化共生の基本を知り、浜松の街を歩いて、身近な課題について考える。

### 第4回「あなたも今日から国際理解教育ファシリテーター」

ワークショップを行う上で身に付けておきたい参加型手法やワークショップづくりのコツについて学び、オリジナルのワークショップを作成する。